

ワーキンググループ報告（素案）の骨子

1. 水害に強い地域づくり

- 地域住民による自主的な防災活動の取組推進
- 早期の生活再建のための水害保険・共済の普及促進等

2. 実効性のある避難計画の策定

- ハザードマップ（避難地図）と避難勧告発令タイミングの改善
- 病院等の要配慮者利用施設における避難確保計画・BCPの策定推進
- 指定緊急避難場所の指定・避難行動要支援者名簿の作成促進

3. 適切な避難行動に結びつけるための情報伝達

- 避難勧告等の躊躇なき発令
- 細やかな情報提供と「顔の見える関係」の構築
- 避難勧告等の確実な伝達

4. 行政の防災力向上

- 市町村長・職員の研修・訓練等による防災体制の強化
- 浸水に対する行政の備え

5. 被災市町村の災害対応支援

- 「水害対応の手引」の作成・周知
- 被災市町村の災害対応を支援する応援体制の確保

6. 被災生活の環境整備

- 避難所を拠点とした被災者支援の推進
- 医療サービスの確保
- 避難時の防犯対策
- 早期の災害廃棄物処理

7. ボランティアと行政との連携・協働

- ボランティアとの積極的な連携
- 円滑な受入と継続的な支援